

## 前橋工業高校新入生 278 人による松枯れ林地再生活動

「環境を意識したものづくりのできる生徒の育成を目指す環境ボランティア活動の実践」

主催：赤城クリーン・グリーン・エコネットワーク、群馬県立前橋工業高等学校

協力：富士見村、国立赤城青少年交流の家

### 実施概要

日 時：平成 21 年 4 月 14 日（火）・15 日（水）

場 所：「国立赤城青少年交流の家」周辺の富士見村有林

参加者：群馬県立前橋工業高等学校 1 年生 278 名

### 実施報告

平成 21 年 4 月 14 日（火）

15:45 講演「地域の課題に取り組む赤城自然塾活動」

講師 赤城自然塾事務局長 小林 善紀

新入の高校生 278 名、教職員 15 名を前にして「地域の課題に取り組む赤城自然塾活動」をタイトルに講演した。

- 1、自己紹介
- 2、きづき
- 3、赤城自然塾について
- 4、地域の課題について、
- 5、夢「水源の森づくり」
- 6、まとめ「赤城山で環境に対する行動原理を身に付けた人が、国内外で活躍してくれることを夢見ている」



### 実施報告

平成 21 年 4 月 15 日（水） 天候：晴れ、気温：22 度 C

参加者 313 名：生徒数 278 名、教師 15 名、富士見村関係 7 名、群馬県森林組合連合会 3 名、赤城南麓森林組合 2 名、赤城自然農園 1 名、国立赤城青少年交流の家関係 6 名、赤城自然塾関係 1 名

11:05 国立赤城青少年交流の家体育館にて

富士見村産業課長横山氏の挨拶、赤城山自然農園の両角 衆さんによる炭を利用した植林の説明、群馬県森林組合連合会課長木本 知弘さんによる植林指導 実施

11:30 昼食

12:50 今回の前橋工業高校による国立赤城青少年交流の家利用により、開設以来の宿泊利用者数が 300 万人を突破し、記念植樹が新入生 278 名の見守りの中で、生徒会長と新入生代表により実施され、看板が設置された。



13:10 粉碎した炭を、各自持参のレジ袋に入れ植林地へ移動

富士見村産業課の配慮による、クヌギの苗木 150 本、ケヤキ 150 本を、富士見村産業課 7 名、群馬県森林組合連合会 3 名、赤城南麓森林組合 2 名、赤城山自然農園 1 名の現場指導の下、植林を実施

4 人のグループで互いに協力して実施

植林地は宿泊棟の北側に富士見村産業課により事前整備が行われ、植林場所は篠竹が 4m 間隔で 300 本たてられ、そこで指導に下づき植林活動を実施した。



14:30 植林後の手直しと残り炭の散布を実施。

協力頂いた関係者による集合写真を撮影し、来年度の協力も約して終了・解散



\* 平成 21 年 4 月 16 日上毛新聞 ( 1 9 ) 社会面に 時の話題 として掲載された。